

国立研究開発法人森林総合研究所災害復旧事業
(国立研究開発法人森林総合研究所施設整備費補助金)

【1, 050百万円】

対策のポイント

熊本地震により被災した国立研究開発法人森林総合研究所九州支所（熊本市）及び九州育種場（合志市）の研究施設、研究設備の修繕や更新等を実施します。

<背景／課題>

- ・国立研究開発法人森林総合研究所九州支所及び九州育種場は、林業の成長産業化を支える重要な研究を担っています。
- ・平成28年熊本地震により、九州支所及び九州育種場においては、壁のひび割れや天井の崩落により立入禁止の措置がとられている研究施設があるほか、研究設備が破損したため、重要な研究の一部が実施できない状況となっています。
- ・九州支所及び九州育種場の研究施設、研究設備等の復旧事業に速やかに着手し、一刻も早く研究を再開させる必要があります。

政策目標

安全な研究環境を整え、林業の成長産業化を支える重要研究を再開させ、林業振興に貢献

<主な内容>

国立研究開発法人森林総合研究所災害復旧事業 1, 050百万円

(1) 九州支所の施設、設備等の復旧

特殊実験棟の建替、研究本館他9施設の修繕、恒温恒湿装置他10設備の更新・修繕等を実施します。

(2) 九州育種場の施設、設備の復旧

研究実験棟他6施設の修繕、画像解析設備他3設備の更新を実施します。

補助率：定額
事業実施主体：森林総合研究所

[お問い合わせ先：林野庁研究指導課 (03-6744-2312)]

国立研究開発法人森林総合研究所災害復旧事業

(国立研究開発法人森林総合研究所施設整備費補助金)

28年度2次補正 事業費(国費) 10.5億円

熊本地震により被災した森林総合研究所九州支所(熊本市)及び九州育種場(合志市)の研究施設、研究設備の修繕や更新等を実施。

【補助対象】 熊本地震により被災した森林総合研究所の研究施設、研究設備等

【補助率】 定額

【事業実施主体】 森林総合研究所

【資金の流れ】 国 → 森林総合研究所

九州育種場の研究施設、研究設備の復旧



壁面の亀裂



DNA増殖装置の故障

九州支所の研究施設、研究設備等の復旧



地面が沈下し建物がゆがみ、各所に亀裂が生じている特殊実験棟



天井内コンクリ壁の倒壊



床面の亀裂



基盤等の破損により漏電警報ランプのみ作動

安全な研究環境を整え、林業の成長産業化を支える重要研究を再開させ、林業振興に貢献